



旧和井田家住宅は、もともとは花又^{はなまた}
(明治22年^{はなはた}に花畑となる)にあった古民家
で、安永2年(1773)に生まれた和井田家
中興の祖である半兵衛が江戸時代後期に
建てたものといわれています。

和井田家住宅の特徴は、軒下^{れんが}に煉瓦が敷きつめられ、土間には煉瓦造りのかまどがあることです。足立区は煉瓦産業が盛んな地域で、明治・大正期の当主であった健次郎は、花畑にあった帝国煉瓦という煉瓦会社の役員も務めた煉瓦づくりの技術者でした。和井田家住宅は、こうした足立区の近代産業の姿をも現在に伝えているのです。

昭和58年から都市農業公園への移築復元工事が始まり、翌年から一般公開されています。



屋内のようす



かまどのようす

きゆうわいだけじゆうたく
旧和井田家住宅
足立区指定有形民俗文化財